

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により
通告します。

2020年 8月21日
東村山市議会議長 宛

議席番号 5番
質 問 者 朝 木 直 子

記

1. コロナ感染拡大防止のための対応マニュアル等について

(1) 市内でのコロナ感染者の状況

- ① 感染者数と感染経路を伺う
- ② 感染者の情報入手ルートや取扱いはどのようになっているか。
- ③ 市民への情報公開はどのようになっているか。

(2) コロナウイルス感染者や周囲への対応について

- ① 市役所でコロナウイルス感染者あるいは濃厚接触者が出た場合の対応はマニュアル化されているか。
- ② 市内学校、学童、各公共施設、幼稚園、保育園等について、職員または利用者から感染者あるいは濃厚接触者が出た場合のマニュアルは各施設でどのようになっているか。
- ③ 民間の商業施設や飲食店などで、感染者あるいは濃厚接触者が出た場合、対応(休業するか否かあるいはその期間、情報開示、従業員のPCR検査等)はすべて東京都が決めるのか。市として対応できる問題は何かないのか。
- ④ 自分が感染者となった場合、あるいは濃厚接触者となった場合の行動マニュアルを市民に対して示しているか。
- ⑤ 感染者や濃厚接触者についての情報開示と、一方、感染者や濃厚接触者への非難や嫌がらせ等防止のための対策はどのようになっているか。

(3) 「ソーシャルディスタンス」や「不要不急の外出自粛」によって、特に一人暮らしの高齢者が孤立化しないための対策はとっているか。また現状をどう把握しているのか伺う。

(4) 市民が「コロナ鬱」という状況に陥らないために、市の対策を伺う。

2. コロナ禍状況における教育等のICT格差について

(1) コロナ禍によって各種会議や、申請、相談等、各分野で社会のICT化が急速に進んでいるが、当市のICT化について、以下伺う。

- ① 当市のICT化(テレワーク、各種会議、申請、相談等)は4月以降、どのように進捗しているか伺う。また今後の見通しについて伺う。
- ② スマートホンやPC端末など、当市市民のICT環境について、調査をしたか。
- ③ ICT化によって、不利益を被る市民はいないか。
- ④ 高齢者がICT化社会から取り残されないよう、対策を講じているか？ 詐欺被害にもつながるので高齢者のICT化をスムーズに進めるための施策はあるか。

(2) ICT化による教育格差について

- ① コロナ感染防止のため、今年度は多くの高校・大学でオンライン授業を取り入れ、ICT化が急速に進んでいる。しかし低所得世帯においては、PCや周辺機器の購入、通信料等が大きな負担となっている世帯があるのが現状だが、この点、市として、実態をどう把握しているか。また、今後の低所得世帯の学生に対し、ICT関連補助等の必要性をどう考えるか。
- ② 高校や大学などでは4月以降、オンライン授業が多くおこなわれているが、本来平等であるべき教育環境が、教育環境＝家庭環境となることから、様々な格差が生じている。市として、オンライン授業の場所の提供など、オンライン授業に適さない家庭環境の学生を支援する制度はあるか、あるいは検討しているか。
- ③ 生活保護世帯へのPC購入について、現状の考え方を伺う。今後、生活保護世帯へのICT導入についての検討はされているか。

3. 市内の経済動向をどう分析し、今後の方針を立てているか。

(1) 市内経済状況をどう把握し、今後の見通しをどう立てているか、各分野ごとに伺う。

(2) ポイント還元事業の効果をどう予想しているか具体的に伺う。根拠も伺う。

(3) 今後、コロナウイルス感染拡大の影響による市内経済をふまえ、次年度予算も含め、市として国都任せではなく、市としてどのような方針を立てて乗り切るのか伺う。

以 上